令和５年度

環境経営レポート

対象期間　令和５年５月１日～令和６年４月 30 日
発行年月日　令和６年８月 20 日

日興電気株式会社

目次

１．　挨拶　・・・P. 3
２．　環境経営方針　・・・P. 3
３．　事業概要及び認証登録範囲　・・・P. 4
４．　実施体制　・・・P. 5
５．　環境経営目標及び環境経営計画　・・・P. 6
６．　環境経営目標の達成状況及びその評価　・・・P. 8
７．　環境経営計画の実施状況及びその評価　・・・P. 10
８．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無　・・・P. 11
９．　代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示　・・・P. 12
10.　次年度の環境経営目標及び取組内容　・・・P. 14
11.　その他（無償奉仕活動の様子等）　・・・P. 16

１．挨拶

この度は弊社の環境経営レポートをご覧いただき誠にありがとうございます。

社会における環境への意識の高まりを感じる中、弊社としても環境配慮は社会的責務であると認識し、日々の事業活動においても取り組みを継続しているところであります。エコアクション 21 の認証取得を通じて、全社員がより一層の環境配慮に対する取組強化に臨み、社会への信頼と期待に応えたいと考える所存であります。

代表取締役　岩舘　光

２．環境経営方針

（基本理念）

弊社は創業から半世紀以上にわたり電気設備工事業を営み、地域発展のために微力ながら力を尽くして参りました。地球温暖化や環境汚染が大きな社会問題となっている中、今後も引き続き地域と共存していくためには環境への配慮が不可欠であり、そのために力を尽くしていかねばなりません。特にも、エネルギーに関わる弊社の事業は、社会や環境に配慮する責務があり、またその責任は重大であると考え、地球温暖化防止と環境負荷の低減のために、社員一丸となって取り組む事を誓約します。

（環境保全への行動指針）

１．CO_2（二酸化炭素）排出量の削減

電気や化石燃料の使用によって排出される CO_2 の削減に努めます。

２．廃棄物の削減と資源の有効利用

産業廃棄物、一般廃棄物の削減と、再利用可能な資源の分別と有効利用に努めます。

３．水資源の節制

事業所内で使用する水の節水に努めます。

４．地域社会の環境保全活動の参加

地域活動や環境保全活動に、積極的かつ継続的に取り組みます。

５．境に関する法規制の遵守

事業活動に関連する環境関連法規等は確実に遵守します。

６．境配慮型技術の普及推進

環境負荷の低減に資する製品の拡販に積極的に取り組みます。

７．企業価値の向上

定期的に環境システムを見直し、環境活動の改善を行い、継続的に環境に配慮した社会貢献に努め、人材の確保や育成に取り組みます。

制定日：平成 26 年 7 月 31 日

改定日：令和 4 年 5 月 20 日

日興電気株式会社

代表取締役　岩舘　光

３．事業概要及び認証取得範囲

□組織の概要

名称及び代表者名　日興電気株式会社
代表取締役　岩舘　光

所在地　本社　　岩手県花巻市豊沢町４－１４
ゴルフ事業部　岩手県花巻市本館１６５－８

環境管理責任者氏名及び連絡先

総務部総務課　室岡　紀朝	E-mail	info25den@nikkoden.co.jp
	TEL	０１９８－２４－６３１１
	FAX	０１９８－２４－２０６８

事業活動の内容

・本社
電気工事業　電気通信工事業　消防施設工事業
（建設業許可（特-3)-第 1798 号　電気工事業　通信設備工事　消防施設工事）
不動産賃貸業

・ゴルフ事業部
ゴルフ練習場の運営

事業規模

（Ｒ６．４末時点）

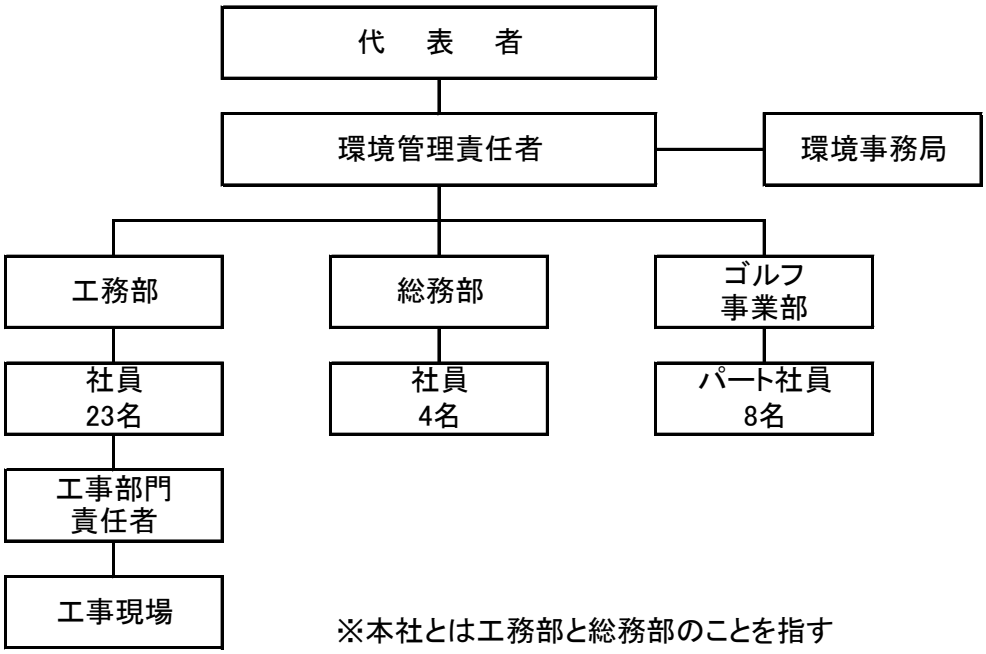
総売上	３４２，５６７	（ 千円 ）
工事件数	４９２	（ 件 ）
従業員	３５	（ 名 ）
（うち、パート）	８	（ 名 ）
延べ床面積	１，２６４．４８	（ ㎡ ）
（うち　本社）	５８６．５４	（ ㎡ ）
（うち、ゴルフ事業部）	６７７．９４	（ ㎡ ）

□認証・登録の対象組織・活動

認証・登録組織名　日興電気株式会社
対象組織・活動　全組織・全活動

４．実施体制

（１） 組織



（２）環境経営システム

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者
	・環境経営方針の策定、環境経営システムの運用に必要な経営資源（人、設備、資産）の調達
	・環境経営システム全体の評価と見直しの実施、必要十分な実施体制の構築
	・環境経営レポートの承認
	・環境管理責任者の任命
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境経営方針の全社員への周知
環境管理責任者	・システムの構築、運用、チェック管理業務
	・環境活動の結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成
	・外部コミュニケーション窓口
環境管理事務局	・データの収集および集計、作図・作表
	・その他、環境管理責任者の業務補佐
部門責任者	・各部において環境管理活動の行動目標を設定・実施
	・環境管理責任者に成果を報告、フィードバックを受けて改善
	・各活動や実施体制に不具合があった際の是正や予防処置の実施
全社員	・環境経営方針の理解、取組の重要性の認識
	・環境経営方針に従い、自主的、積極的に環境活動へ参加

５．環境経営目標及び環境経営計画

（１）主な環境負荷の実績

項目	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
CO_2排出量	**kg-CO_2/年**	**80,301**	**71,485**	**60,921**	**74,215**
・電力	kg-CO_2/年	17,541	16,955	14,130	13,037
・ガソリン、軽油	kg-CO_2/年	50,980	41,415	37,271	49,919
・灯油、都市ガス、LP ガス	kg-CO_2/年	11,780	13,115	9,520	11,259
産業廃棄物排出量	**kg/年**	**5,820**	**44,218**	**9,119**	**12,851**
一般廃棄物排出量	**kg/年**	**4,189**	**3,645**	**3,688**	**4,453**
総排水量	**㎥/年**	**611**	**546**	**390**	**368**
環境配慮製品の拡販	**件数**	**27**	**34**	**82**	**66**
グリーン購入	**件数**	**52**	**119**	**92**	**139**

CO_2排出量売上原単位

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
CO_2排出量（kg-CO_2/年）	80,301	71,485	60,921	74,215
売上高（万円）	33,120	42,589	28,673	34,257
CO_2排出量（kg-CO_2/年） /売上高（万円）	**2.425**	**1.678**	**2.125**	**2.166**

（２）環境経営目標

令和 3 年度を基準年とし、令和 4～6 年度の単年度目標を以下のように設定し、環境活動に取り組んでいます。

項目		単年度目標		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
CO_2排出量	本社・工事現場・ゴルフ事業部	**3%減**	**4%減**	**5%減**
・電力	本社・ゴルフ事業部	3%減	4%減	5%減
・ガソリン、軽油	工事現場	3%減	4%減	5%減
・灯油、都市ガス、LP ガス	本社・ゴルフ事業部	3%減	4%減	5%減
産業廃棄物排出量	工事現場	**3%減**	**4%減**	**5%減**
一般廃棄物排出量	本社・ゴルフ事業部	**3%減**	**4%減**	**5%減**
総排水量	本社・ゴルフ事業部	**3%減**	**4%減**	**5%減**
環境配慮製品の拡販	本社・工事現場	**10%増**	**20%増**	**30%増**
グリーン購入	本社	**現状維持**	**現状維持**	**現状維持**

（３）環境経営計画（中期取組内容）

対象	方針	目標項目		取組内容
CO_2 排出量	削減	電力使用における CO_2排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	太陽光発電システムの導入 節電意識の定着化 照明の LED 化 エアコンの設定温度の適正化 昼休み中等不要な照明の消灯
		ガソリン・軽油使用における CO_2 排出量の削減	工事現場	エコドライブの励行 配車の適正化 空気圧の定期的なチェック 低燃費車両への更新
		灯油・LPG 等使用における CO_2 排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	クールビズ、ウォームビズの励行 省エネ機器への更新 冷暖房の不要な部屋の電源を切る
産業 廃棄物 排出量	削減	排出量の削減	工事現場	施工ムラ、ムダの低減 発生した産業廃棄物の適正な管理・処分の徹底
一般 廃棄物 排出量	削減	排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	分別の徹底 再利用資源のリサイクル コピー用紙の使用量の削減
総排水量	削減	水道水使用量の削減（節水）	本社・ゴルフ事業部	節水意識の定着化 使用量の随時確認
環境配慮 製品	拡販	環境配慮製品の拡販	本社・工事現場	LED 照明、エアコン等の環境負荷に配慮する製品の販売件数（施工件数）の増加
グリーン 購入	増加	グリーン購入	本社	事務用品等において対象製品の購入品目の増加
地域活動	参加	ボランティア 地域清掃	本社・工事現場	地域活動への積極的参加
企業価値 の向上	向上	各種認定制度の活用	本社	「いわて地球環境にやさしい事業所（4つ星）」認定の継続 その他、認定制度の活用

６．環境経営目標の達成状況及びその評価

令和５年の取組結果は、CO_2排出量は基準値及び目標値をオーバーする結果となってしまいました。

ガソリン及び軽油使用量の増加が主な原因であり、従業員の増による車両の増や遠方の工事現場の増が要因でありますが、企業活動に係る増であるため、やむを得ないところであります。

電気使用量については、昨年度に本社に導入した太陽光発電システムの恩恵が大きく、通年稼働したことにより使用量を抑えることができました。また、ゴルフ事業部においては電気使用量を抑えることはできましたが、これは人手不足により土日の夜間営業を休止していたためであり、企業活動が犠牲となっていた結果となっています。

灯油・ガス類については、令和５年 12 月に本社事務所２階を改修した際に都市ガスを使用する機器を導入したため、都市ガスの使用量が増となりました。令和６年度には本社事務所１階の改修を予定しており、そのための一時的な増であるため、やむを得ないものであります。ゴルフ事業においては、上記のとおり土日の夜間営業を休止していため、灯油の使用量は抑えられていました。

産業廃棄物排出量は目標達成、一般廃棄物排出量は目標未達となりました。個々の工事現場の内容によるところが大きい項目であるため排出量のコトントロールは難しいところでありますが、引き続き適正な管理・処分に努めるものとします。

CO_2排出量売上原単位で比較すると、令和３年度は 1.678、令和４年度は 2.125、令和５年度は 2.166 となり、若干の悪化が見られます。売上高は平年並みの事業規模でありましたが、大型案件の受注が伸び悩んだことが要因です。

今後とも、環境活動と企業活動を両立することが課題といえます。

○環境経営目標の達成状況及びその評価　取りまとめ

項目	単位	基準値（令和３年度）	単年度目標		実績値	評価
			令和５年度	目標値		○:100%以上 △: 80%以上 ×: 80%未満
CO_2排出量	**kg-CO_2**	**71,485**	**4%減**	**68,625**	**74,215**	**△**
・電力	kg-CO_2	16,955	4%減	16,277	13,037	○
・ガソリン、軽油	kg-CO_2	41,415	4%減	39,758	49,919	×
・灯油、都市ガス、LP ガス	kg-CO_2	13,115	4%減	12,590	11,259	○
産業廃棄物排出量	**kg**	**44,218**	**4%減**	**42,449**	**12,851**	**○**
一般廃棄物排出量	**kg**	**3,645**	**4%減**	**3,499**	**4,453**	**×**
総排水量	**㎥**	**546**	**4%減**	**524**	**368**	**○**
環境配慮製品の拡販	**件数**	**34**	**20%増**	**41**	**66**	**○**
グリーン購入	**件数**	**119**	**現状維持**	**119**	**139**	**○**

※　購入電力のCO_2排出係数（令和２年度調整後排出係数、単位：t-CO_2/kWh）は、
東北電力㈱ 0.522（本社）及び㈱エネット 0.372（ゴルフ事業部）を使用しています

○実績値の内訳

項目	単位	本社・工事現場 実績値	評価		ゴルフ事業部 実績値	評価
CO_2排出量	**kg-CO_2**	**62,691**	△		**11,524**	○
・電力	kg-CO_2	5,292	○		7,745	○
・ガソリン、軽油	kg-CO_2	49,919	×		―	―
・灯油、都市ガス、LP ガス	kg-CO_2	7,480	×		3,779	○
産業廃棄物排出量	**kg**	**12,851**	○		―	―
一般廃棄物排出量	**kg**	**3,224**	×		**1,229**	△
総排水量	**㎥**	**123**	△		**245**	○
環境配慮製品の拡販	**件数**	**66**	○		―	―
グリーン購入	**件数**	**139**	○		―	―

※　購入電力の CO_2排出係数（令和 2 年度調整後排出係数、単位：t-CO_2/kWh）は、
東北電力㈱ 0.522（本社）及び㈱エネット 0.372（ゴルフ事業部）を使用しています。

７．環境経営計画の実施状況及びその評価

項目		実施状況及びその評価	
		評価	取組内容
CO_2 排出量	電力使用における CO_2 排出量の削減	○	（本社）太陽光発電システムの維持・継続
		○	（本社）不要な照明のこまめな消灯等取り組んでいる
		△	（本社・ゴルフ事業部）冷暖房の適正配置と適正使用
		△	（本社）局所暖房を取り入れエアコンの節エネに取り組んでいる
		○	（本社・ゴルフ事業部）照明の LED 化に取り組んでいる
		○	（ゴルフ事業部）土日の夜間営業を休止したことによる使用量の減 ただし、企業活動が犠牲
	ガソリン、軽油使用における CO_2 排出量の削減	×	（工事現場）従業員の増による車両の増や遠方の工事現場の増により、ガソリン・軽油使用量の増
	灯油、LPG 等使用における CO_2 排出量の削減	×	（本社）都市ガスを使用する暖房機器の導入による都市ガスの使用量の増
		○	（ゴルフ事業部）土日の夜間営業を休止したことによる灯油の使用量の減 ただし、企業活動が犠牲
産業廃棄物排出量	排出量の削減	○	（工事現場）工事現場の内容により排出量の減、マニフェスト管理は徹底している
一般廃棄物排出量	排出量の削減	△	（本社・ゴルフ事業部）企業活動による増、分別は徹底している
総排水量	水道水使用量の削減（節水）	△	（本社）節水の意識の意識向上に努める
		○	（ゴルフ事業部）必要最小限の使用にとどめている
環境配慮製品の拡販	環境製品の拡販	○	（本社・工事現場）LED 照明、エアコンによる省エネ化は堅調
グリーン購入	グリーン購入	○	（本社）対象事務備品の購入の増
地域活動	ボランティア、地域清掃、インターンシップ等	○	（本社）就業体験学習の支援（インターンシップ）の実施　延べ 12 名受入、高等学校の実習授業への講師派遣　延べ 12 名派遣
企業価値の向上	各種認定制度の活用	○	（本社）「いわて地球環境にやさしい事業所（4 つ星）」認定（継続）、「いわて女性活躍認定企業等（ステップ 1）」認定（継続）、「令和 5 年度いわて産業人材奨学金返還支援制度」に係る認定企業として認定（新規）
その他	設備・施設	○	（本社）事務所の受付に花鉢を置くようにしている、事務室 2 階の改修を行った

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、違反、訴訟等の有無

弊社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックした所、違反等はありませんでした。

また、過去三年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について問題はありませんでした。

法律・条令規則の名称（略称）	内容	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理と減量 国・地方公共団体の施策に協力 産業廃棄物の処理または委託基準の遵守 管理票の交付、回収・照会、保管・管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の適正な引渡し及び費用の負担	○
建設リサイクル法	建設資材廃棄物の発生の抑制	○
温対法	温室効果ガスの排出の量の削減	○
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検・定期点検	○
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	廃棄物等の適正処理	○

なお、環境関連法規については、環境省ホームページや各種法令検索等を用いて確認しています。

９．代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

（１）取組状況の評価

評価項目	内容	評価
環境関連法の遵守状況	弊社において環境関連法規に違反している事項はない。産業廃棄物の排出方法についても関係部署間で周知徹底し取組んでいる。	○
環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果	ガソリン、軽油で目標未達があり、社員の増や遠方の工事現場が増えたことにより使用量が増加した。 都市ガスを使用する機器を追加したことにより、使用量が増加した。 ゴルフ事業部においては、土日の夜間営業を休止していたことにより、電力や灯油等の使用量は減少した。	△
問題点の是正処置及び予防措置	車両の適正配置や省エネ車両への切替え、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図る。 月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努める。	○
外部からの苦情等の受付結果	クレーム対応ノートを整備し記録を取っているが、今のところクレームは発生していない。工事現場においても同様にクレームが発生していないが、何か問題が発生した際は速やかに報告するよう周知徹底する。 クレーム以外にも環境活動等に関する記録をしている。	○
組織に影響する法規制動向	特になし。	○
取引先からのグリーン購入	特になし。	○
エコアクション環境改善提案	冷暖房の更新等、事務所内の環境改善と光熱費の圧縮を図るよう検討する。	○
企業価値の向上	「令和 5 年度いわて産業人材奨学金返還支援制度」に係る認定企業として認定（継続）。 「いわて地球環境にやさしい事業所（4 つ星）」認定（継続）。	○
その他	工務部の部門責任者の任命が行われていない。	×

（2） 見直し・指示

見直し項目	評価	改善及び指示
環境方針	環境方針に基づき活動を行うにあたり、支障はないとみるので問題なし。	特になし。
環境目標	ガソリン、軽油は目標未達であるが、遠方の工事現場が増えたことによるため、許容できる範囲とみる。都市ガスは目標未達であるが、暖房機器の追加によるため、今後は都市ガスの使用量は特に注視する必要がある。	工事現場に大きく左右されるガソリン、軽油であるが、諸々の取り組みで削減努力を行うこと。 取組内容はできることから少しずつ項目を増やして管理するよう努めること。
実施体制	特に問題なし。	特になし。
環境経営計画及び環境経営システム	概ね達成している。	その他の省エネ方策も、引き続き検討すること。
その他	工務部の部門責任者を任命できていない。	代表者において選定を行う。 工事現場の、車両、産業廃棄物、工事の品質・安全についても担う。

全体評価

令和 5 年度は、CO_2排出量削減目標は未達であるが、工事現場に大きく左右されるガソリン、軽油が主な原因であるため、許容できる範囲とみる。ゴルフ事業部においては、土日の夜間営業を休止していたことことにより電気使用量、灯油使用量が抑えられたが、今後土日の夜間営業を再開するにあたりそれぞれの使用量が増加することが予見されるため、環境活動と企業活動を両立させることの難しさを感じる。

目標を達成するのが目的ではない。社員の環境意識の向上も大切であることから、引き続き環境活動の啓発・取り組みを継続していくこと。

10．次年度の環境経営目標及び取組内容

（１）次年度の環境経営目標

令和３年度を基準年とし、令和４～６年度の単年度目標を以下のように設定し、環境活動に取り組んでまいります。

対象	方針	目標項目		単位	基準年度	基準年度に対する削減(増加)率（目標値）		
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					71,485（CO_2排出量計）	69,341（CO_2排出量計）	68,625（CO_2排出量計）	67,910（CO_2排出量計）
CO_2排出量	削減	電力使用におけるCO_2排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	削減率（%）		3	4	5
				kWh	40,691	39,471	39,063	38,656
				kg-CO_2	16,955	16,446	16,277	16,107
		ガソリン・軽油使用におけるCO_2排出量の削減	工事現場	削減率（%）		3	4	5
				ガソリンℓ	13,909	13,491	13,353	13,214
				軽油ℓ	3,545	3,439	3,403	3,368
				kg-CO_2	41,415	40,173	39,758	39,344
		灯油、LPG等使用におけるCO_2排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	削減率（%）		3	4	5
				灯油ℓ	5,197	5,042	4,989	4,937
				LPｶﾞｽ・都市ｶﾞｽ	79	76	75	74
				kg-CO_2	13,115	12,722	12,590	12,459
産業廃棄物排出量	削減	排出量の削減記録・管理	工事現場	削減率（%）		3	4	5
				kg	44,218	42,891	42,449	42,007
一般廃棄物排出量	削減	排出量の削減記録・管理	本社・ゴルフ事業部	削減率（%）		3	4	5
				kg	3,645	3,535	3,499	3,463
総排水量	削減	水道使用量の削減（節水）	本社・ゴルフ事業部	削減率（%）		3	4	5
				㎥	546	530	524	520
環境配慮製品の拡販	拡販	環境配慮製品の拡販	本社・工事現場	増加率(%)		10	20	30
				件数	34	37	41	44
グリーン購入	増加	グリーン購入	本社	増加率（%）		現状維持	現状維持	現状維持
				件数	119	119	119	119

（２）次年度の取組内容

１．CO_2排出量の削減

電気使用量については、令和４年度に本社に導入した太陽光発電システムの恩恵は大きいですが、その他の方策も検討していきます。ゴルフ事業部においては、引き続き省エネの方策を模索していきます。月次の使用量を随時確認して、異常値がないか注視を続けます。

ガソリン・軽油使用によるCO_2排出量は売上高に比例して増加する傾向であること、受注した工事現場に左右されることからコントロールは難しいところでありますが、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図ることや、低燃費車両への更新も検討していきます。また、冬場の休憩等はアイドリングした車両内で行っているため、休憩所を拡張する等の整備を行うことにより対策し、環境向上に努めます。

令和５年度は本社事務所２階を改修しましたが、令和６年度は１階を改修します。照明器具の更新、断熱性能の向上、冷暖房機器の更新を行い、電気・灯油・都市ガス等のバランスをとることで、一層のCO_2排出量の削減を目指します。

ゴルフ事業部においては、土日の夜間営業を再開する見込みです。電気使用量等が増加することが予見されるため、月次の使用量の確認は特に注意していく必要があります。

２．産業廃棄物排出量及び一般廃棄物排出量の削減

産業廃棄物排出量は、個々の工事現場の内容によるところが大きい項目であるため排出量のコントロールは難しいものではありますが、引き続き適正な管理・処分に努めるものとし、排出量の削減に努めます。

一般廃棄物排出量は、分別等を徹底し、排出量の削減に努めます。

３．総排水量（節水）

事務所内で使用する水の大半は生活排水（トイレ・給湯）であり、張り紙や声掛けをする等社員の意識向上に努め、引き続き節水に取り組むものとします。

ゴルフ事業部においては、月次の使用量を随時確認し、異常値がないか注視しながら環境活動に努めます。

４．環境配慮製品の拡販

弊社の事業範囲においてはLED照明やエアコン等の環境配慮製品を多く取り扱っており、お客様に積極的に提案することによって環境配慮型社会の形成に寄与できるよう、今後も積極的な提案活動に努めます。

５．グリーン購入

事務用品等を購入する際は、対象製品を購入するよう引き続き努めます。

６．地域活動

本社がある花巻市では定期的に無償奉仕活動として地域貢献活動を行っていますが、近隣の市町村でも地域貢献活動を定期的に行っていくよう努めていきます。

７．企業活動の向上

いわて地球活動にやさしい事業所（４つ星）認定を継続、令和5年度いわて産業人材奨学金返還支援制度に係る認定企業に認定されたことから、より対外的にアピールを続けていきます。

11．その他（無償奉仕活動の様子等）

（１）高等学校の実習授業への講師派遣

（２）就業体験学習の支援（インターンシップ）の受け入れ並びに技能指導